

希望の種
ふくおか
NPOファイル

⑬

「スペシャルオリンピックス(SO)」は知的障害がある人にスポーツを楽しんでもらおうと活動を続ける国際団体です。本部は米国・ワシントンDCにあり、現在は170カ国以上が加盟。英語表記は「Special Olympics」。最後が「s」と複数形になっているのは、世界中で日常的にこの活動が行われているという理念が込められています。

大規模な競技会は世界大会と各国ごとの「ナショナルゲーム」を夏季、冬季と4年で一巡するサイクルで毎年開催。障害者スポーツという点ではパラリンピックと似てい

スペシャルオリンピックス日本・福岡

事務所=福岡市中央区▽電話番号=092 (741) 0799

メールアドレス=son_fukuoka@son.or.jp

ますが、特徴的なのは知的障害がある人に日常的なスポーツトレーニングプログラムを提供し、その成果の発表の場として競技会を位置付けていることです。

SOは日本では1994年に活動が始まり、96年に福岡

県でも任意団体の「地区組織」が発足。2013年にNPO法人「SO日本・福岡」となりました。現在は小学生から40代まで210人のアスリートがSO日本・福岡に登録。福岡、北九州、春日、久留米、飯塚市などの25会場で水泳や

陸上、テニスなど16種目のスポーツトレーニングプログラムに取り組んでいます。

知的障害者と楽しむ

した際に、タウン誌に掲載された「アスリート募集」の記事をきっかけにSOに出会いました。

次男は当時、中学1年。小学校での支援学級時代、療育としての観点を持つ先生は「できないことをできるように

▽その家族であるファミリー会員▽コーチやトレーナー、事務などのボランティア▽団体の経営を行う理事や職員と

必要ことですが、盛田さんは自宅で次男と宿題をしている時にふと、「自分までが教師の関わりをしなくても良いのでは

4月からは理事にもなった山崎さんは「他のコーチなど多くのボランティアが協力して作り上げてきてくれたSOのプログラムを次に伝えること

SO日本・福岡の事務局で働く盛田美代子さん(60)は職員であり、ファミリー会員でもある立場。次男は知的障害と自閉症があります。1995年に広島から福岡へ引っ越

は地域の大学生ボランティアイベントに参加させるように、能力を伸ばすのではない」と話しています。

(仮認定NPO法人「アカツキ」代表理事・永田賢介)



2月の冬季ナショナルゲーム・新潟に出場した福岡の選手団

10年前、友人からの誘いでSOの活動に参加するように

原則毎週月曜掲載